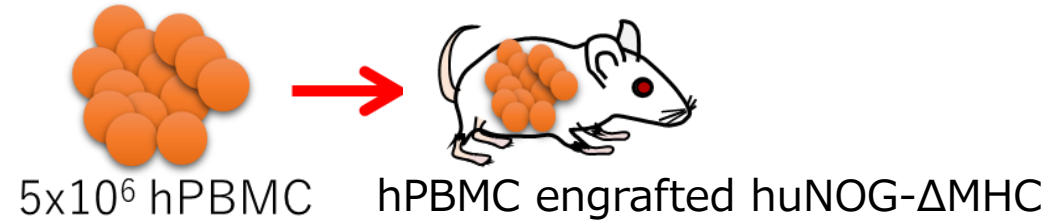


PBMC移植ヒト化NOG-ΔMHCマウス作製方法



- 6週齢の NOG マウスを購入し、納入後約 1週間順化飼育します。
- その後、5×10⁶ 個の PBMC を尾静脈より移入します。
- NOG-ΔMHC マウスを使用する場合は X 線照射等の前処理は不要です。
- hPBMC 移入後 5~8 週でヒト細胞のキメラ率は 30% 程度まで上昇し、その後徐々に低下します。
- 末梢血中に見いだされるヒト CD34⁺ 細胞の多くはヒト CD3⁺ 陽性のT細胞です。
- NOG-ΔMHC マウスは、マウス MHC クラス I およびクラス II がノックアウトされています。そのため、移入した PBMC 由来 T 細胞により誘発される GVHD は、非常に軽度で、GVHD によりエンドポイントに至る個体はほとんど出現しません。
Y. Ka et. al. *Immunology Letters* (2021)
- ヒト末梢血単核球細胞移植ヒト化マウスはヒト由来材料を含みます。
- 細胞情報シートを事前入手し、ご確認のうえ各機関のルールに従ってご使用ください。
- PBMC 移植済みヒト化 NOG-ΔMHC マウスも供給可能です。
(インビボサイエンスで作製したヒト化マウスの場合、細胞シートは弊社より提供させていただきます。)

➤ NOG-ΔMHC マウス、PBMC 移植済みヒト化 NOG-ΔMHC マウスのご注文、ご質問など
弊社ホームページのお問い合わせフォーム、電子メールまたはお電話にてご連絡くださいますようお願いいたします。
お問い合わせフォーム：<https://www.invivoscience.com/contact/> E-mail：sales@invivoscience.com
Tel：044-201-8518